

令和 6 年 5 月 13 日

信州大学工学部に流域治水研究センターを設立

令和 6 年 5 月、信州大学工学部は「流域治水研究センター」を設立しました。流域治水研究センターは、分野横断型の課題に取り組むため産学官から研究者が集まる場である信州大学工学部の共同研究センターの一つです。今後、流域治水に関する具体的なニーズの発掘とその解決に向けた教育研究プロジェクトの形成を流域治水研究センターで行っていきます。

運営

センター長：吉谷純一教授（令和 7 年度末まで）

構成メンバー：信州大学工学部水環境・土木工学科教員および兼業特任教員

当面の活動方針

流域治水研究センターでは、令和元年東日本台風（台風第 19 号）災害を受けて全国各地で開始された流域治水の取り組みを教育研究面で支えることを目指します。そのため、千曲川流域治水を推進する信濃川水系（信濃川上流）流域治水協議会の構成員や地元企業、全国各地の専門家等と蜜に連携しながら、中長期的観点から重要な課題を見出し教育研究を進めて行きます。

研究キーワード

洪水予測、治水計画、都市計画、貯留施設、ゲリラ豪雨、レーダ、逃げ遅れゼロ、水害版事業継続計画、土木、情報、防災教育、マイ・タイムライン、逃げキット

大学の研究シーズ（現時点）

- 小型気象レーダによる長野県内の降雨立体観測
- 分散型貯留施設の治水効果評価、降雨流出解析数値計算による治水計画
- 限られた観測下での実時間洪水予測
- ため池貯留の治水効果評価
- 製造業・卸売業の水害版事業継続計画ガイドライン
- 可能最大降雨・洪水を予測する小スケール気象水文モデル
- 年 6 回程度の土木学会 CPD 認定「防災と環境」に関する一般公開講演会の開催
- 逃げキットを用いた小学生高学年対象の防災教育

一般公開の開所イベント（予定）

日時：令和 6 年 9 月 26 日（木）または 27 日（金）の午後 3 時間程度、懇親会開催予定

場所：信州大学長野（工学）キャンパス内、基調講演はウェビナー配信も予定

基調講演：中北英一 京都大学防災研究所教授

流域治水研究センターに関する問合せ先

信州大学工学部水環境・土木工学科教授 吉谷純一

電話：026-269-5336、メール：yoshitani@shinshu-u.ac.jp